

河環研だより

No. 5
'07.10月1日

研究紹介

高付加価値養殖魚種による地域特產品の開発

—水田を利用したナマズの養殖—

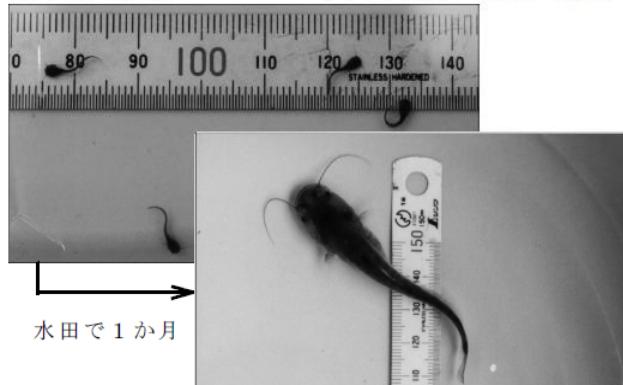
ナマズは、岐阜県では主に平野部で食材として珍重されています。また、関東地方では消費量が多く、養殖も行われています。今年から、白川町でナマズを養殖して特產品に出来ないだろうかとの取り組みがはじまりましたので紹介します。

ナマズの養殖で特徴的な点は、極めて旺盛な食欲のため、ふ化後餌を食い始めるとすぐに激しく共食いをはじめることと、全長1cm程度の仔魚が約1か月で10cmにもなるという成長の速さです。これまでに行われてきたナマズ養殖ではこの共食いをいかに防ぐかがポイントで、そのために仔稚魚期にはこまめな給餌が欠かせず、非常に手間がかかりました。そこで、手間のかかる仔稚魚期を、ナマズが自然界で実際に利用している水田に委ねてしまおうと考えました。

水田を使ったナマズ養殖は、当所と飼育設備を持つ財団法人「美濃白川クオーレの里財団（クオーレの里）」、白川町内で有機農法を志す農家のグループ「ゆうきハートネット」の3者で取り

組んでいます。今年度は採卵を中心に当所が技術的なサポートを行いながら、クオーレの里の飼育水槽などで採卵・ふ化を行い、ゆうきハートネットのメンバーの有機無農薬栽培の水田で1か月程度育てた後、再びクオーレの里に戻して養成を行っています。水田へ放流したナマズの1か月後の回収率は多くて1割ほどで、水田に取り残されたナマズも多く見られたことから、稚魚の回収率向上が大きな課題となっています。その他に、水田から戻ったナマズの成長や生残状況のチェック、安定的な生産体制の構築、商品化といったことも今後検討していくかなくてはなりません。

(下呂支所 藤井亮吏)



コイヘルペスウイルス（KHV）病の最新情報について

KHV病は、省内において平成15年11月以降、本年8月末までに28市町村の河川、個人池等で149件の発生が確認されています。昨年は23件（河川1件、個人池21件、公共施設池1件）、本年は6月（個人池2件）と8月（個人池2件）に4件の発生が確認されています。最近のKH病の発生原因として、発病（またはウイルスを持っている）コイの購入によると考えられる事例が多くなっています。また、最近の研究で健康に見えるが、ウイルスを持っているコイが免疫機能の低下や水温変化によりに体内のウイルス活性を高めることを示唆する報告がなされました。これらのことから、コイを購入する際しては細心の注意が必要であり、最低限購入先に生産履歴（発病履歴等）の確認を十分行ってください。KH病のまん延防止のためには、コイに死亡等異常が見られたら、県庁水産課（電話058-272-1111 内線2893）に連絡をお願いします。

開かれた研究所

研究所一日開放

毎年恒例の一日開放事業が8月5日（日）に下呂支所において行われました。これは研究所を県民に公開し、魚に親しみながら、一般の人にはなかなか目に触れることがない当所の研究に関しての理解を深めてもらうためのものです。

台風5号の接近もあり、なにかと気をもみましたが、当日は晴天に恵まれ昨年を上回る参加者がありました。

今年は例年のイベントに加え「親子で昆虫遊び」と題して、遊びながら水生昆虫の世界を学べる体験学習企画を開催し、好評を得ました。

毎年、釣りやつかみどり等の参加型のイベントは人気があるのに比べ、当所の研究紹介コーナーはなかなか興味を引いてもらえず、課題を残しました。

今後はさらに展示を工夫し、参加者の方々に当所の研究をよりわかりやすく紹介したいと思います。



体験学習風景



釣り風景

河川環境楽園 夏休み特別企画 —ヨシノボリの不思議を研究しよう—



河川環境研究所では、今夏、河川環境楽園の特別企画として「ヨシノボリの不思議を研究しよう」を自然発見館と共同で開催しました。ヨシノボリは岐阜県の川に広く生息するハゼ科の小魚で、腹のひれが吸盤状になっているのが特徴です。この企画は小学生とその保護者を対象とし、前半は自然発見館が担当して近くを流れる新境川でヨシノボリの採集を行いました。後半は室内で、研究所が独自に製作した世界で1台だけの実験装置を使ってヨシノボリの吸盤のくっつく力を、吸盤のないカジカ（カジカ科）と比べてみました。実験の結果、水路の角度が急になるとカジカは落ちてもヨシノボリは落ちず、ヨシノボリのくっつく力の強さを確かめることができました。

お知らせコーナー

9月から本所では、小学生の皆さんの川や魚に関する取り組みや活動報告などを紹介するパネル展示コーナーを設けました。現在は山県市桜尾小学校の皆さんによる鳥羽川等の河川の生物紹介、川の健康度、ゴミ調べ等について調査した内容が紹介されています。

このコーナーに掲示するパネル等を広く募集しています。
ご連絡をお待ちしています。

コーナー担当：資源増殖部 三浦 航



岐阜県山県市立桜尾小学校の皆さん的作品